

Japanese Public Libraries' Approach to COVID-19 : Perspectives from Library Outreach Services

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2022-03-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 中山, 愛理 メールアドレス: 所属:
URL	https://otsuma.repo.nii.ac.jp/records/7214

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



新型コロナウイルス感染症に対応する 日本の公共図書館の取り組み

— 図書館アウトリーチサービスの視点から —

中山 愛理

【キーワード】 新型コロナウイルス感染症, 電子図書館, 郵送・宅配サービス, アウトリーチサービス

1. はじめに

2020年初頭から、世界で徐々に蔓延した新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19）は、人びとの生活や行動を変化させる要因となった。COVID-19の蔓延は、日本の公共図書館サービスにも大きな影響を与えた。日本の公共図書館は、感染状況に合わせて、休館を余儀なくされ、たとえ開館していたとしても、開館時間の短縮、館内閲覧席の使用制限、利用者の滞在時間制限、読み聞かせのようなイベントの中止や人数制限、マスク着用や手指消毒の徹底、飛沫拡散防止シートの設置、入館記録収集など、これまでにない制限と対策等が行われることになった。その結果、図書館利用に対する障壁が生じはじめた。

本稿では、この障壁に対し日本の公共図書館がどのように対応しようとしたのかという問いに対し、図書館アウトリーチサービスを手がかりに分析を行うこととした⁽¹⁾。図書館アウトリーチサービスを手がかりとした理由は、もともとアウトリーチサービスが「何らかの理由で図書館サービスを楽しむ人びとを対象」⁽²⁾とする実験的、試行的、臨時的な活動であり、COVID-19に対する公共図書館の対応を分析する上で適していると考えたためである。この分析枠組みを用いて、日本の公共図書館によるCOVID-19に対応する、2020年3月から2021年10月までの取り組みを対象に分析を試みた⁽³⁾。

これらの一連の分析を通じて、日本の各公共図書館がどのような方法でCOVID-19により生じた障壁を乗り越えて、利用者のもとへ図書館サービスを届けていたのかを示すことができる。すべてではないが公共図書館の対応事例から、図書館の使命、役割を再度確認し、図書館利用に対する障壁に対し、どのようなサービスが必要になってくるかについて検討することで図書館サービスの可能性を探る際の参考とすることもできるであろう。

2. 公共図書館の取り組みに影響を与えたCOVID-19の状況

ここでは、図書館サービスの変化に影響を与えたCOVID-19の状況を大まかに確認しておきたい。

2020年1月16日、日本国内でCOVID-19の感染者が確認された。その後、市中感染確認や集団

感染が確認され感染拡大に向かうなかで、北海道では2月25日独自に要請した道内の学校に対する1週間の臨時休校が2月27日に始まった。同日には、国は全国すべての小中高校などを3月2日から春休みまでの期間を臨時休校とするよう要請を行った。これにより全国の学校は、一斉休校となり、授業はもとより卒業式などの式典中止が相次いだ。こうした中で、2月頃からお話し会などのイベントを中止する図書館、貸出返却に制限をかけ開館する図書館、臨時休館する図書館と、一部で図書館サービスへの影響が出始めた⁽⁴⁾。3月下旬から感染者数が急増し、そして、4月7日には、国が人と人との接触を最低7割、極力8割減らす目標を掲げて、「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言」を東京都や大阪府などの7都府県に発出し、4月16日には宣言区域を全国へと拡大させた。それにより多くの施設が休館し、図書館もまた例外ではなかった。多くの公共図書館で臨時休館（5月6日時点で91.8%）⁽⁵⁾となり、これまで行ってきた通常の図書館のサービスを提供できなくなる事態に陥った。開館を継続した公共図書館でも閲覧席の使用中止やイベントを中止するなどの措置がとられた。その際、公共図書館の利用に対する障壁が生じ、それによっていくつもの制約が生じる事態となった。5月14日には、首都圏1都3県、大阪府などの8都道府県を除き、宣言解除となり、最終的に5月25日宣言の全面解除となった。国から3つの密（密閉空間、密集場所、密接場面）を回避すること、身体的距離の確保や狭い部屋での長居は無用といった「新しい生活様式」が提言され、図書館サービスの方法にも影響を及ぼすことになった。

こうした中で、国は「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（以下、臨時交付金）」⁽⁶⁾の活用例として「図書館パワーアップ事業」⁽⁷⁾を示し、多くの自治体が交付を受けたことで、COVID-19に対応した図書館サービスの予算確保へと繋がった⁽⁸⁾。

その後も、分散登校やテレワークの推進、感染状況に合わせた区域を限定した緊急事態宣言の発出と解除が繰り返えされていった。感染状況によって、在住者のみ利用可としたり、滞在時間を制限するような図書館サービスに対する制約を変化させていき、臨時休館する図書館は概ね2割以下にとどまっていた。

3. COVID-19に対応した日本の公共図書館の取り組み

3.1 郵送・宅配サービスの開始や拡充

2020年2月末の北海道や国の要請に基づく、学校の臨時休校に伴い、児童生徒は自宅などで過ごす必要がなくなってきた。これによって児童生徒は、学校および学校図書館への物理的なアクセスができなくなり、学ぶ機会や学びのための情報資源へのアクセスに対する障壁が生じた。

その障壁に対し公共図書館が対応しようとする取り組みがみられた。根室市図書館（北海道）は、3月6日から18歳までの子どもがいる家庭を対象に、図書館職員が図書を届ける「宅配サービス」に着手した⁽⁹⁾。人と人の接触を避けるよう外出自粛が求められた状況下で、児童生徒が自宅で図書へのアクセスを確保する機会となった。なお、根室市図書館の取り組みは、有期限ではあったものの4月1日から5月15日まで全市民向けの宅配サービスへと対象者の拡充が図られることになった。このほかにも、郵送・宅配による取り組みは、期間や人数を限定した利用者負担が生じない方法と利用者負担による郵送・宅配による方法がみられた（表1）。

表1 郵送・宅配を実施した主な公共図書館

実施時期	図書館名：実施概要
2020年2月29日～3月12日	中札内村図書館（北海道）：臨時休館に伴い、十勝館内在住の利用登録済の人を対象に、自宅へ無料で配送するサービスを実施 [Web, 電話で申込, 5冊まで（期間中3回まで）、返却は図書館へ]
2020年3月7日～6月28日	大分県立図書館：臨時休館に伴い、利用カードをもつ人に対して、送料を利用者負担とする「宅配図書館」を実施 [Web フォーム, 郵送, FAX で申込, 10冊まで, 返却は図書館か, 自己負担の郵送・宅配で]
2020年4月6日～5月18日 *2021年4月～6月20日の臨時休館にも実施	松原市民図書館（大阪府）：臨時休館に伴い、利用カードをもつ人に対して、自宅、勤務先へ職員が配達する「宅配サービス」を実施 [Web 予約, 電話で申込, 30点まで]
2020年4月21日～5月28日 *2020年8月, 2021年1月の臨時休館にも実施	新富町図書館（宮崎県）：臨時休館に伴い、町内在住の利用カード登録者に対して、地域おこし協力隊員が自宅まで無料で届ける「貸出宅配サービス実施（町外在住者は費用負担の宅配） [電話, FAX, E-mail で申込, 5冊まで, 返却はブックポストか, 開館後, 後に配達地域おこし協力隊員へ]
2020年4月22日～5月24日	斜里町立図書館（北海道）：臨時休館の期間中、町民向けに職員による無料の臨時配本サービス「おうちで読書」を実施 [電話, FAX, E-mail で申込, 10冊まで, 返却は開館後]
2020年4月～	神栖市立図書館（茨城県）：・感染症予防のため外出を控えているなど図書館への来館が難しい神栖市在住の利用カードを持つ人に対して「図書宅配サービス（有料）」を実施
2020年4月24日 9:30～14:40	京都府立図書館：ゴールデンウィーク中に自宅で読書を楽しんでもらうため、京都府在住者を対象に「【期間限定】府立図書館図書無料お届けサービス」を実施（先着500名程度） [専用 Web フォームから申込, 5冊まで, 返却は図書館か, 自己負担郵送で]
2020年4月25日～5月19日	明石市立図書館（兵庫県）：臨時休館の際、市内の未就学児を対象とする絵本を自宅まで届ける無料の「絵本の宅配便」を実施 [電話, E-mail で申込, 5冊まで, 返却はブックポストや郵送で]
2020年5月7日～5月20日 *2021年4月25日～6月20日の臨時休館にも実施	柏原市立図書館（大阪府）：臨時休館中、柏原市内を対象に、自宅、勤務先へ職員が配達する「予約本の無料宅配サービス」を実施 [Web, 電話で申込, 返却は配達時か, ブックポストへ]
2020年5月7日～5月30日	上富田町立図書館（和歌山県）：上富田町在住・在学の小中学生と上富田町在住で乳幼児を育児中の人を対象とする無料図書宅配を実施 [電話で申込, 5冊まで, 返却は図書館のブックポストへ]

(各図書館の Web サイトなどにより筆者作成)

3.2 臨時窓口やドライブスルー方式、移動図書館による貸出

臨時休館した図書館の中には、感染対策を講じたうえで貸出サービスを継続するために、臨時窓口やドライブスルー方式による対応を行う事例もみられた。

2020年3月19日より5月13日まで臨時休館中であつた熊本県立図書館は、予約図書を図書館

の書庫に設置された臨時窓口で貸出するサービスを実施した⁽¹⁰⁾。こうした取り組みは、日田市立淡窓図書館（大分県）、広島県立図書館、黒部市立図書館（富山県）、砺波市立中央図書館（富山県）などでも実施された。

また、宇部市立図書館（山口県）では2020年4月25日、26日の試行を経て、28日から「インターネット予約図書のドライブスルー貸出し」を実施した。福井市立図書館（福井県）では、2020年5月7日から予約図書に限定し、ドライブスルー方式での貸出を行った⁽¹¹⁾。利用者が事前予約した図書を図書館駐車場に車で乗り付けた利用者が利用カードを提示すると、職員が予約を確認し、図書を貸出す流れであった⁽¹²⁾。会津若松市立会津図書館（福島県）で2020年5月11日から電話やWebで予約した図書に限定し、図書館駐車場通路で貸出するドライブスルー方式での貸出を行った⁽¹³⁾。このほかにも、2020年5月開館延期となった海南 nobinos の図書館（和歌山県）では、次節の図書のセット貸出をドライブスルー方式で実施した。27種類のテーマで3冊（5歳までは5冊）をセットにした図書のテーマを選び貸出を受ける方式であった⁽¹⁴⁾。貸出に必要な利用カードの発行もその場で受けられるようになっていた。なお、2回目以降の臨時休館においても、2021年4月の世田谷区立図書館（東京都）、2021年5月の北九州市立図書館（福岡県）⁽¹⁵⁾、2020年8月の松山市立図書館（愛媛県）⁽¹⁶⁾などで臨時窓口による貸出が取り組みとしてみられた。

臨時の貸出という点では、多賀町立図書館（滋賀県）が学校休校や臨時休館への対応として2020年3月から5月にかけて移動図書館の臨時巡回を実施し、貸出を行った例がある⁽¹⁷⁾。

3.3 図書のセット貸出や貸切による利用

利用制限を設けた開館や臨時休館から再開した図書館では、感染リスクを軽減するために図書のセット貸出に取り組むこともみられた。この取り組みは、COVID-19以前から図書館の福袋事業として、中身がわからないように数冊の図書をまとめて貸出すサービスを拡大させた取り組みであった。

例えば、生駒市図書館（奈良県）⁽¹⁸⁾では来館者の滞在時間を短くし感染リスクを軽減する工夫として、2～3冊を詰めた、「絵本」「小学校低学年用」「小学校高学年用」「中学生用」「大人用」の5種類の「福袋」を2020年3月上旬から8月1日まで提供⁽¹⁹⁾していた。

2020年3月、長浜市立図書館（滋賀県）では図書選びで滞在時間が長くなることで感染リスクを懸念する保護者の声を踏まえ学年別に3～5冊をまとめた「おうちライフ応援パック」を提供するような子ども向け図書のセット貸出の対応がとられた⁽²⁰⁾。

2020年6月、島田市立図書館（静岡県）では感染予防の一環として、館内の滞在をできる限り避けるために、年齢層やジャンル別に2～3冊をセットにした「本のテイクアウト」を実施した⁽²¹⁾。このほかにも、感染防止対策として2020年4月から新上五島町立図書館（長崎県）⁽²²⁾、2020年9月みずほハスの花図書館（千葉市）⁽²³⁾などで子ども向けの図書セット貸出がみられた。

感染リスクを軽減する点では、2021年7月から橿原市立図書館（奈良県）で取り組まれた市内の小学生以下の子どもがいる世帯を対象に、事前予約制の図書館貸切り（1時間）、閲覧や貸出を受けられる取り組みがあった⁽²⁴⁾。なお、好評を得たため、この事業は同年10月まで実施された⁽²⁵⁾。

3.4 図書館外での受け取りサービス

2020年7月、鳥取市立図書館（鳥取県）では、COVID-19の感染拡大対策として、図書館に来館せずに予約図書を24時間受け取れ、受け取った予約図書の返却もできるコンビニエンスストアの拠点を増やす取り組みをおこなった⁽²⁶⁾。2016年にファミリーマート鳥取湖山西店で開始した

サービスを、ファミリーマート道の駅かわはら店および、ファミリーマート道の駅西いなば気楽里店の2か所増やすという従前の取り組みを拡充するものであった。

2020年12月1日、泉佐野市立図書館（大阪府）は、予約資料の受け取りができる貸出ロッカーを南海本線泉佐野駅に設置した。予約時に泉佐野駅を指定し、準備ができるとメールか電話でロッカー番号と開錠のための暗証番号が連絡されるもので、「新型コロナウイルスの影響で施設の利用制限が続く中、サービス向上を求める市民の声に応えた」⁽²⁷⁾ものであった。泉佐野駅には、既設の返却ポストがあり、図書館へ出向かなくても貸出から返却までが可能となっている。泉佐野市立図書館では、予約図書を各図書館（図書室）や移動図書館で受け取れるサービスを行っており、従前の貸出拠点を拡充する取り組みであった。こうした取り組みは、2020年12月山形市立図書館（山形県）でも図書館本館正面入口外に予約図書を24時間受け取れる「予約受取ボックス」が設置されるなど、他館でも実施されている。

3.5 電子図書館の拡充や導入

COVID-19が蔓延するなかで、電子図書館の利用が増加したことが知られている⁽²⁸⁾。その取り組みは、既存の電子図書館サービス拡充と新規導入に分けて捉えることができる。

COVID-19以前から電子図書館を導入していた公共図書館は少ないながら存在⁽²⁹⁾しており、利用の呼びかけやサービスの拡充に取り組む例がみられた。2016年から電子図書館を導入していた磐田市立図書館（静岡県）では、2020年3月の一斉休校に伴い、家庭で過ごす子どもたちに向けて活用を呼びかけていた⁽³⁰⁾。2020年2月29日から休館した熊本市立図書館（熊本県）[2019年導入]では、図書館Webサイトにおいて「本館休館中の電子図書館について」⁽³¹⁾として、その利用を勧めるとともに、3月6日から電子図書館内に「特集：人生を考える」、3月9日から小中高生向けの「特集：今、君たちに読んでほしい100冊」の電子書籍紹介コーナーを公開した⁽³²⁾。5月2日からは、市内各小中学校から児童生徒に配付している「図書利用カード」で電子図書館にログインができるようにした⁽³³⁾。電子図書館へのアクセスをしやすくする取り組みには、堺市立図書館（大阪府）[2011年導入]の実施した2020年4月7日から5月31日まで、電子メールによる申込で、電子図書館臨時利用者ID（利用は7月31日まで）を722人に対し、発行する試みがあった⁽³⁴⁾。同図書館でも電子図書館内に小中学生向けの「絵本・読み物」、「自宅学習」のような電子書籍紹介コーナーの公開を行った⁽³⁵⁾。このほかにも、安城市図書情報館（愛知県）⁽³⁶⁾や山梨県立図書館⁽³⁷⁾のように、電子図書館のコンテンツを追加する取り組みもみられた。

一方、COVID-19に伴う、休館で「読書したいのに借りる場所がない」という声⁽³⁸⁾や感染対策などを念頭に、新たに電子図書館を導入する例もみられた。その中でも最も早い導入とみられるのが狛江市立図書館（東京都）である。2020年4月臨時休館中であった狛江市立図書館では、「新型コロナウイルス感染拡大防止を図りつつ図書館サービスを充実させるため」⁽³⁹⁾に、電子図書館の導入検討を行い、5月26日市単独事業として506万円の予算承認⁽⁴⁰⁾を経て、6月10日から「こまえ電子図書館」（7,000タイトル以上）を開始した⁽⁴¹⁾。2020年10月には、英語図書や音声図書を追加し、2020年度末に9,664タイトルを揃え、貸出6,915回、閲覧18,220回の利用に至っている⁽⁴²⁾。

このような電子図書館の新規導入には、独自事業として実施するほか、COVID-19対策として、国の「地方創生臨時交付金の活用が可能な事業（例）」に「社会的な環境の整備」のひとつとして、電子図書館サービスの導入⁽⁴³⁾が示されたことで、その「臨時交付金」を活用した導入もみられた（表2）。

表2 電子図書館を導入した主な公共図書館

導入時期	図書館名
2020年6月	狛江市立図書館（東京都）
2020年7月	おいらせ町立図書館（青森県）、那須塩原市図書館（栃木県）、茨木市立図書館（大阪府）、広島県立図書館・福山市図書館・三原市立図書館（広島県）、春日市民図書館（福岡県）、三浦造船佐伯図書館（大分県）
2020年8月	川西市立中央図書館（兵庫県）
2020年9月	久慈市立図書館（岩手県）、座間市立図書館（神奈川県）、河内長野市立図書館（大阪府）
2020年10月	高萩市立図書館・取手市立図書館・桜川市真壁図書館（茨城県）、那珂川町図書館（栃木県）、鶴ヶ島市立図書館（埼玉県）、各務原市立中央図書館（岐阜県）、大阪狭山市立図書館（大阪府）、奈良市立図書館・生駒市図書館・香芝市民図書館・大和郡山市立図書館（奈良県）、下松市立図書館（山口県）、福岡県立図書館、宮崎市立図書館（宮崎県）、南風原町立図書館（沖縄県）
2020年11月	世田谷区立図書館（東京都）、松田町図書館（神奈川県）、大東市立図書館（大阪府）、市立竹原書院図書館（広島県）、宇佐市立図書館（大分県）
2020年12月	網走市立図書館（北海道）、一関市立図書館（岩手県）、藤岡市立図書館（群馬県）、韭崎市立大村記念図書館（山梨県）、真門市立図書館（大阪府）、葛城市立図書館（奈良県）、岩出市立岩出図書館（和歌山県）、宇部市立図書館（山口県）、伊方町立図書館（愛媛県）、宇美町立図書館（福岡県）、長与町図書館（長崎県）、豊見城市立中央図書館（沖縄県）
2021年1月	笠間市立図書館（茨城県）、真岡市立図書館（栃木県）、寄居町立図書館・坂戸市立図書館・戸田市立図書館（埼玉県）、文京区立図書館・立川市図書館・武蔵野市立図書館・多摩市立図書館（東京都）、木更津市立図書館（千葉県）、沼津市立図書館（静岡県）、愛知県図書館・西尾市立図書館（愛知県）、神戸市立図書館（兵庫県）、呉市立図書館（広島県）、光市立図書館（山口県）、新居浜市立図書館（愛媛県）
2021年2月	余市町図書館（北海道）、みどり市立図書館（群馬県）、川越市立図書館（埼玉県）、館山市図書館・四街道市立図書館（千葉県）、くにたち図書館（東京都）、燕市立図書館（新潟県）、瀬戸市立図書館（愛知県）、大津市立図書館（滋賀県）、うるま市立図書館・沖縄市立図書館（沖縄県）
2021年3月	登別市立図書館（北海道）、伊達市立図書館（福島県）、茂原市立図書館（千葉県）、三鷹市立図書館（東京都）、横浜市立図書館（神奈川県）、魚津市立図書館・入善町立図書館（富山県）、半田市立図書館・小牧市立図書館（愛知県）、岐阜市立中央図書館（岐阜県）、宇治市立図書館（京都府）、箕面市立図書館・寝屋川市立図書館（大阪府）、三郷町立図書館・天理市立図書館（奈良県）、尾道市立図書館（広島県）、福岡市総合図書館、古賀市立図書館・朝倉市立図書館（福岡県）、大分県立図書館・豊後大野市立図書館・津久見市立図書館（大分県）、沖縄県立図書館・南城市立図書館、読谷村立図書館（沖縄県）
2021年4月	帯広市図書館・恵庭市立図書館（北海道）、東大阪市立図書館・泉佐野市立図書館・和泉市立図書館（大阪府）、王寺町立図書館（奈良県）、糸島市立図書館・岡垣サンリーアイ図書館（福岡県）、長崎市立図書館（長崎県）
2021年5月	三沢市立図書館（青森県）、善通寺市立図書館（香川県）

（各図書館のWebサイトなどにより筆者作成）

3.6 オンラインコンテンツの導入や拡充

公共図書館によるオンラインコンテンツの導入は、COVID-19以前から少ないながらもみられた取

り組みであった。COVID-19に伴うオンラインコンテンツの導入や拡充は、感染対策としてお話し会の中止、図書館休館、学校休校、外出自粛などによって、児童サービスの一環として行われていた取り組みが実施できなくなったことやおうち時間の充実などへの対応として試みられたものである。

例えば、2020年4月15日10時から12時に名取市図書館（宮城県）は、赤ちゃん向けお話し会「ビヨビヨおはなしタイム」として、著作権者の許諾を得て、15分の読み聞かせ動画配信を行い⁽⁴⁴⁾、5月9日、23日には「@ほーむおはなし会」として児童向けの読み聞かせ動画の時間限定配信を実施した。

コンテンツの著作権に問題がない場合には、継続的な動画公開が続けられている。例えば、2020年4月15日から横浜市立図書館（神奈川県）は、おうちで楽しめるコンテンツ（電子書籍、動画、ぬりえなど）において、横浜に伝わる昔話や民話などの紙芝居を制作者が演じる2作品の動画公開を開始し、その後追加され20作品以上の動画が公開されている⁽⁴⁵⁾。このほかにも図書館キャラクターの塗り絵なども提供されている。また、2020年4月23日から伊予市立図書館（愛媛県）は、複合施設に同居する文化ホールコラボレーション企画として、「伊予市のむかし話 読み語りシリーズ」動画7本を公開した⁽⁴⁶⁾。伊予市教育委員会発行の『伊豫市のむかし話伝説』から選ばれた昔話を職員が読み語りするもので、後に追加され、動画14本⁽⁴⁷⁾が公開されている。2020年4月から6月にかけて枚方市立図書館（大阪府）は、「枚方市立図書館朗読の時間」⁽⁴⁸⁾で青空文庫を活用し選定した著作権切れ11作品の職員による朗読動画、中央図書館のフロア毎の紹介動画6本を公開するとともに、2020年4月から8月にかけて枚方市立図書館ではブックトーク動画6本やピース工作動画1本を公開している。

このほかにも、読み聞かせやお話し会の動画配信を行った図書館は多数存在する。期間限定の動画は、権利者から許諾を得て実施する方式が多く、継続的な公開は地元の団体などが制作した絵本や紙芝居を演じてもらう方式が目立っていた。また、図書館の公式ウェブサイトから動画への案内がないものもあり、再生数はそれほど多くはない状況であった（表3）。

表3 読み聞かせ・お話し会動画配信を実施した主な公共図書館⁽⁴⁹⁾

公開日	図書館名	作品名／活動内容	再生数
2020年3月23日	宝塚市立図書館	紙芝居『じゃがじゃがくん』など計5作品	不明
2020年4月10日	吹田市図書館（大阪府）	わいわいブックトーク（5・6年）	2,778回
2020年4月28日	荒川区立図書館（東京都）	『あらかわ今昔ものがたり』	498
2020年4月28日	石狩市民図書館（北海道）	布の絵本『サケの一生』	981
2020年5月1日	綾部市立図書館（京都府）	紙芝居『「岡の大女房」』	526
2020年5月3日	羽生市立図書館（埼玉県）	絵本『ムジナものはっぱさがし』	1,284
2020年5月14日	土岐市図書館（岐阜県）	土岐市昔ばなし「檜の木と龍」	402
2020年5月14日 ～5月26日	福生市立図書館（東京都）	絵本『ぐるんぱのようちえん』『しっぽのはたらき』『おおきなかぶ』	1,012
2020年5月15日	真庭市立図書館（岡山県）	おあそびひろば（工作など）	358
2020年5月16日	宗像市立図書館（福岡県）	紙芝居『オガチのすむ島』	15
2020年5月19日	三芳町立図書館（埼玉県）	ひとくちブックトーク『長くつ下のピッピ』	1,827

2020年5月21日	名張市立図書館（三重県）	『風呂に入るお地藏さん』（名張の昔話）	412
2020年5月22日	藤岡市立図書館（群馬県）	絵本『鬼石のおこり』	661
2020年5月26日	前橋市立図書館（群馬県）	人形劇『帰ってきたぜ！おおかみガブッチョ』	828
2020年6月2日	石川県立図書館	昔話「白山のわらじ」	398
2020年6月5日	南足柄市立図書館（神奈川県）	創作紙芝居『足柄山の金太郎』	382
2020年6月11日	真庭市立図書館（岡山県）	絵本『そらまめかぞくのピクニック』	233
2020年6月12日	札幌市中央図書館（北海道）	絵本『ヨムくんふゆのたび』	752
2020年6月16日	宇佐市民図書館（大分県）	絵本『しんごうきピコリ』	3,814
2020年6月17日	相模原市図書館（神奈川県）	おうちでたのしむミニおはなし会（わらべ歌／手遊びなど）	631
2020年6月24日	牛久市立中央図書館（茨城県）	おやこわらべうたの会（わらべ歌遊び）Vol.1	1,772
2020年6月25日	善通寺市立図書館（香川県）	『おおさやまのこぼんだぬき』	446
2020年10月20日	津山市立図書館（岡山県）	絵本『りゅうじんさまは菌がいたい』	779
2020年10月～ 2021年3月31日	取手市立図書館（茨城県）	絵本『きかんしゃやえもん』など計4作品	6,722
2020年12月17日	金沢市立図書館（石川県）	絵本『じごくのそうべえ』	893
2021年3月16日	綾川町立図書館（香川県）	紙芝居『オミタラさん』	134
2021年8月27日	桐生市立図書館（群馬県）	絵本『ほくくま』	455

（各図書館の Web サイトなどにより筆者作成）

動画配信は、児童向けの取り組み以外もみられた。例えば、沼津市立図書館（静岡県）では、2020年11月から読書週間講演会の動画⁽⁵⁰⁾、2021年3月から「子どもの読書に関する講演会」の動画が公開されている。このほかに、オンラインコンテンツの充実という点では、図書館 Web サイトで COVID-19 に関するリンク集を提供する例もみられた。

3.7 図書除菌機や自動貸出機の導入

COVID-19 以前から日本の公共図書館において、図書の貸出手続きを利用者自身で行う自動貸出機や図書除菌機の導入がみられたが、感染症対策として新たに導入する図書館もみられた。図書除菌機については、相模原市立図書館相武台分館（神奈川県）⁽⁵¹⁾ のように手作りする図書館もあったが、多くは国の「臨時交付金」などを活用しながらの導入であった（表4）。

自動貸出機については2020年12月末、中野市立図書館（長野県）では、「書籍からの感染を防止する。セルフ貸出により、カウンターでの感染防止を図る」⁽⁵²⁾ ことを目的にセルフ貸出機2台、書籍消毒機1台を導入した。国の「臨時交付金」令和2年第2次実施計画を活用したもので、利用者自身で利用カードと図書に貼り付けられたバーコードを貸出機にかざすことで貸出手続きを済ませることができるようにする取り組みであったが予約図書や返却は従来通り有人カウンターでの対応であった⁽⁵³⁾。

以前から自動貸出機を導入していた図書館の中には、予約図書の受け取りや貸出をセルフで行う機器を導入する事例もみられた。奈良市立図書館（奈良県）では、2020年12月10日に図書除菌機の設置を行うとともに、2021年1月5日から事前に予約した図書について、予約照会機に利用

表4 図書除菌機を導入した主な公共図書館

導入時期	図書館名
2020年6月	和光市図書館（埼玉県）、西東京市図書館（東京都）、相模原市立図書館相武台分館（神奈川県）、桂川町立図書館（福岡県）
2020年7月	立川市立図書館（東京都）、亀山市立図書館（三重県）
2020年8月	ひたちなか市立図書館（茨城県）、三郷市立図書館（埼玉県）、御坊市立図書館（和歌山県）、鳥取県立図書館
2020年9月	取手市立図書館・鹿嶋市立図書館（茨城県）、輪島市立図書館（石川県）
2020年10月	香取市立図書館（千葉県）、伊勢原市立図書館（神奈川県）、韭崎市立大村記念図書館（山梨県）、清水町立図書館（静岡県）、大和高田市立図書館（奈良県）、新宮市立図書館（和歌山県）、呉市立図書館（広島県）、かわもと図書館（鳥根県）
2020年11月	長岡市立図書館（新潟県）、土岐市図書館（岐阜県）、早島町立図書館（岡山県）、伊方町立図書館（愛媛県）、鹿島市民図書館（佐賀県）
2020年12月	柏崎市立図書館（新潟県）、交野市立図書館（大阪府）
2021年1月	行方市立図書館（茨城県）宇都宮市立図書館（栃木県）、那覇市立図書館（沖縄県）
2021年2月	前橋市立図書館（群馬県）、浅口市立図書館（岡山県）
2021年3月	弥富市立図書館（新潟県）

（各図書館の Web サイトなどにより筆者作成）

カードをかざし印字されたレシートを手がかりに予約図書受け取りコーナーから利用者自身で探し、自動貸出機を使い手続きを可能にするサービスを開始した⁽⁵⁴⁾。

このほかにも、境港市民図書館（鳥取県）でも2020年度一般会計補正予算案で自動貸出機、自動返却機の導入が提示され⁽⁵⁵⁾、2021年に導入されている⁽⁵⁶⁾。

3.8 ポストコロナを見据えた分散型サービスの実施

2021年1月13日から2月19日まで、別府市（大分県）では別府市新図書館等整備基本計画リモートライブラリー+プラス事業を実施した⁽⁵⁷⁾。この実証事業は「新型コロナウイルス感染症による社会変化を経て、一か所に人を集めるだけでなく、様々な場や施設を活用し、図書館サービスを分散化する機能も必要ではないかと考え」⁽⁵⁸⁾ 取り組まれた。無人のリモートライブラリーとして、別府市役所、別府駅、トキハ別府店の3か所にWi-Fi環境を整備し、約40冊を並べた書架と電源コンセントの使用できる閲覧机を置き、AI解析用のカメラを用い利用状況を調査する試行的サービスであった⁽⁵⁹⁾。

4. COVID-19によって生じた図書館利用に対する障壁への対応

ここでは、取り上げた事例に基づいて、図書館利用に対する障壁への対応について簡単な分析をしておく。COVID-19による臨時休館は、情報資源の利用に対する障壁を生じさせた。その対応として、郵送・宅配サービスの実施や臨時窓口、ドライブスルー方式、移動図書館の臨時運行による貸出は、物理的な情報資源に対して生じた障壁を解消する取り組みがみられた。また、臨時休館時に開始された取り組みではないが、図書館外での受け取りサービスは、休館日や開館時間という障

壁を解消する取り組みといえる。同様に、図書館による電子図書館やオンラインコンテンツの導入・拡充は、休館日や開館時間という障壁を解消する取り組みと考えられる。こうした図書館利用に対する障壁の解消につながった点でアウトリーチサービスと捉えられる。しかし、何らかの理由でネットワークにアクセスできない人びとにとって電子図書館やオンラインコンテンツへのアクセスの排除という別の障壁をつくってしまうことから、別のアウトリーチ的な取り組みが求められる。

5. おわりに

本稿では、COVID-19によって生じた図書館利用に対する障壁に対し、日本の公共図書館がどのような対応をしようとしたのかについて、図書館アウトリーチの観点から捉え検討を行った。

日本の公共図書館は、COVID-19の蔓延により、多くの図書館でサービスの制限や臨時閉館がみられた。そのなかでも、アメリカ合衆国などの諸外国と異なり強制的な外出制限であるロックダウン措置がとられることがなかったこともあり、図書館職員は勤務を継続することが可能であったこと、外出自粛は求められるもの図書館という場所へのアクセスは可能であったことから、一部の図書館において臨時窓口での予約貸出などの取り組みがみられた。しかしながら、緊急事態宣言という急激な図書館サービス環境の変化に対して、臨時休館の対応しかとれなかった公共図書館も一定数存在した。全国的な緊急事態宣言解除後、公共図書館は、3つの密を回避するために制限を課しながら図書館サービスの提供を行っていった。

そうした一連の取り組みから、公共図書館は制限という困難がありながらも、これまで取り組んできた図書館サービスの提供を維持し続けていこうとする姿勢があったことを確認できる。それは、これまでの図書館サービスの維持という点から一定程度評価されるべきものであると考えられる。一方で、外出自粛や人との接触を避けるといった図書館利用の障壁となりうる従来からの図書館利用者や図書館を利用してこなかった潜在利用者の生活環境の変化に即して、公共図書館が活動の幅を広げる可能性の余地は十分にあるといえるであろう。また、臨時休館により生活困窮者などの図書館から排除されてしまった存在がいたことも忘れてはならない⁽⁶⁰⁾。従来通りの公共図書館から脱却することで、その可能性は広がってくる。それにはアメリカでアウトリーチサービスを担う図書館員にみられた失敗することを恐れず何でも試すというようなチャレンジ精神が大事になるのかもしれない。

COVID-19に合わせた図書館サービスは、感染収束後も継続していくとは限らない。実際に、本稿執筆時点の2021年11月時点で、COVID-19を理由とした臨時休館をする公共図書館はなくなったことで、一時的な貸出冊数や期間の緩和の取りやめ、一時的な郵送・宅配サービスの取りやめもみられる。それは、図書館施設の再開や移動図書館の運行再開といった利用に対する障壁がなくなったとすれば、継続する必然性がなくなるためである。その一方で、取り組みが継続され、通常の図書館サービスに組み込まれていくことも考えられる。

本稿は、2020年3月から2021年10月までの日本の公共図書館による取り組みを対象とした。そのため、その後の取り組みの検証も引き続き行っていくことで図書館アウトリーチサービスとして試行的・実験的・臨時的にはじめられたサービスが一時的なサービスでその役目を終えたのか、それとも通常サービスに組み込まれていったのかを検証することができると考えられる。また、COVID-19は世界各国でパンデミックを引き起こしたことから、他国の公共図書館の取り組みを分析、比較することで、日本の図書館サービスの特徴を確認できるであろう。さらに、COVID-19か

ら生じた図書館利用に対する障壁に公共図書館がどのように対応していったのかが明らかにされ、今後図書館がどのような存在として人びとに望まれるかを考える際の重要な手がかりとなると思われる。

《注》

- (1) 同じ視点でアメリカの公共図書館の取り組みを分析したものに拙著「新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) とアメリカ公共図書館のサービス ― 図書館アウトリーチサービスの視点から ―」がある。
- (2) 中山愛理. “アウトリーチサービス”. 小黒浩司編. 図書館サービス概論, (講座図書館情報学, 5), ミネルヴァ書房, 2018, p. 214-227.
- (3) 今回取り上げた事例は, 取り組みの一部に過ぎない。読売新聞, 朝日新聞, 毎日新聞, 日本経済新聞の各記事データベースで, 「コロナ 図書館」のキーワードでヒットした記事や雑誌記事などからピックアップし, 各図書館や自治体, 国のウェブサイトで得られた情報により補足した。
- (4) 休館開館: 悩む図書館: コロナ対策「仕方ないけど」. 朝日新聞 [夕刊] 大阪本社版. 2020-03-06, 11 面.
- (5) 図書館の休館状況については, saveMLAK の調査を参照されたい。saveMLAK. covid-19-survey. <https://savemlak.jp/wiki/covid-19-survey>, (参照 2021-11-20).
- (6) 内閣府地方創生推進室. “新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金”. 国立国会図書館インターネット資料収集保存事業 (WARP). <https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11663707/www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/rinjikoufukin/index.html>, (参照 2021-11-20).
- (7) 内閣府地方創生推進室. “新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用事例集”. 国立国会図書館インターネット資料収集保存事業 (WARP). 2020-05-01. https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11663707/www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/rinjikoufukin/pdf/jireisyu_ver1-2.pdf (参照 2021-11-20).
- (8) 内閣府. “新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 地方公共団体別事業一覧 (第1次提出分詳細版)”. 国立国会図書館インターネット資料収集保存事業 (WARP). https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11663707/www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/rinjikoufukin/pdf/keikaku_dai1_ver1-10.pdf, (参照 2021-11-20).
- (9) 一斉休校自宅学習ネット活用. 読売新聞 [朝刊]. 2020-03-09, 25 面.
- (10) 予約で本貸し出し: 県立図書館. 読売新聞 [朝刊] 熊本版. 2020-04-07, 23 面.
- (11) 佐藤秀樹. 特集, コロナに負けない図書館: コロナ禍でも移動図書館車大活躍!!, 図書館の原点に戻って Let's Go !!. みんなの図書館. 2020, (524), p. 11-14.
- (12) 上原佳久ほか. 文化施設悩みつつ…: 図書館車で本受け渡し: 美術館企画展は延期. 朝日新聞 [朝刊] 大阪本社版. 2020-05-18, 23 面.
- (13) 堀内佑二. 車に乗ったまま図書館: コロナ現場から. 読売新聞 [朝刊] 福島版. 2020-05-13, 23 面.
- (14) 図書館ドライブスルー: 海南ノビノス「福袋」で貸し出し. 読売新聞 [朝刊] 和歌山版. 2020-05-24, 21 面.
- (15) 北九州市の公共施設休館: 図書館は臨時窓口開設. 読売新聞 [朝刊] 福岡版. 2021-05-13, 21 面.
- (16) 天野光一. 松山市立図書館, 特設窓口を設置: 予約の本など貸し出し. 朝日新聞 [朝刊] 愛媛全県版. 2021-08-26, 23 面.
- (17) 西河内靖泰. 図書館は休館, でも移動図書館車は走った. みんなの図書館. 2021-01, (525), p. 53-61.
- (18) この事例のほか生駒市図書館 (奈良県) では 2020 年 5 月から「お手紙を交換しませんか?」と題した外出自粛の市民から, 文通による読書相談の取り組みを実施し, 近況や読んだ本, 読みたい本をしたためた封書を郵送・図書館のブックポストへ投函すると 1 週間ほどで, 本を紹介する返事が届く仕組みとなっていた。
伊藤誠. 貸し出し予約再開: 生駒市図書館 ネット・電話で. 朝日新聞 [朝刊] 奈良全県版. 2020-05-09, p. 25.

- “お手紙を交換しませんか?”. 生駒市図書館. お手紙を交換しませんか?, (参照 2021-11-20).
- (19) お薦めブック: 図書館の福袋. 読売新聞 [夕刊]. 2020-03-17, 11 面.
- (20) 堀江昌史. 図書館おうちライフ応援: 丘峰喫茶店によろこ. 朝日新聞 [朝刊] 滋賀全県版. 2020-03-18, 28 面.
- (21) 島田市立図書館. “本のテイクアウト” はじめました!!”. 島田市立図書館. 2020-06-10. <https://www.library-shimada.jp/news/20200610/1469/>, (参照 2021-11-17).
本選びセットで手早く: 島田市 3 図書館「ウィズコロナ」対策. 読売新聞 [朝刊] 静岡版. 2020-06-12, 20 面.
- (22) 子ども向け「本の福袋」: 新上五島長 5 図書館. 読売新聞 [朝刊] 長崎版. 2020-07-25, 18 面.
- (23) 図書館が絵本の福袋: 千葉・花見川区長時間滞在自粛で. 読売新聞 [朝刊] 千葉版. 2020-09-04, 22 面.
- (24) 全館貸し切り家族で読書: 橿原市立図書館 22 日から. 読売新聞 [朝刊] 奈良版. 2021-07-16, 33 面.
- (25) 橿原市立図書館. “橿原市立図書館より「図書館貸切 10 月分」に関するお知らせです”. 橿原市立図書館・こども科学館 (かしはら万葉ホール) @tosho_kagakukan. 2021-09-24. https://twitter.com/tosho_kagakukan/status/1441265840410664974 (参照 2021-11-20).
- (26) 鳥取市立図書館. “鳥取市立図書館 予約図書 コンビニ受取サービスの利用について”. 鳥取市立図書館. <https://www.lib.city.tottori.tottori.jp/c1/bib/pdf/10478.pdf> (参照 2021-11-16).
予約本受け取りファミマ 2 店増: 鳥取市立図書館. 読売新聞 [朝刊] 鳥取版. 2021-09-05, 23 面.
- (27) 借りたい本駅で受け取り: 市図書館南海泉佐野にロッカー. 読売新聞 [朝刊] 大阪版. 2020-12-02, 27 面.
- (28) ここに図書館: 電子書籍貸出 4 倍. 読売新聞 [夕刊]. 2020-05-23, 10 面.
上嶋紀雄. 図書館の電子書籍大人気: 綾瀬・大和両市コロナで利用急増. 朝日新聞 [朝刊] 横浜版. 2020-06-23, 19 面.
電子図書館の利用急増: コロナ影響貸し出し 5 倍も. 茨城新聞. 2020-08-11, 17 面.
コロナ禍で広がる電子図書館. 日経 MJ. 2020-10-26, 6 面.
- (29) 2019 年末時点で 90 自治体 87 電子図書館が導入されていた.
植村八潮, 野口武悟, 電子出版制作・流通協議会. 電子図書館・電子書籍貸出サービス調査報告 2020: With/After コロナの図書館. 電子出版制作・流通協議会, 2020, p.196-198.
- (30) 須田世紀. 休校中の子どもへ「電子図書館使って」: 磐田, 無休で 24 時間利用可. 朝日新聞 [朝刊] 静岡全県版. 2020-03-09, 21 面.
- (31) “図書館からのお知らせ: 本館休館中の電子図書館について”. 熊本市立図書館. 2020-02-28. <https://www.library.city.kumamoto.jp/> (参照 2021-11-19).
- (32) 花房吾早子, 福島慎吾. 君の部屋が図書館に: 子ども向け電子書籍などを活用: 新型コロナでどこも休館でも… 朝日新聞 [夕刊] 西部本社版. 2020-03-21, 7 面.
- (33) “学校の図書利用カードで電子図書館が利用できます”. 熊本市立図書館. 2020-04-24. <https://www.library.city.kumamoto.jp/>, (参照 2021-11-19).
- (34) 堺市立図書館. “新型コロナウイルス感染症の影響について”. 令和 2 年度 堺市立図書館サービス評価. 堺市立図書館, 2021, p.1-5.
- (35) 関雄輔. 新型コロナ: 電子書籍貸し出し: 所蔵資料公開 各図書館, ネット対応に力. 毎日新聞 [夕刊] 大阪版. 2020-04-18, 2 面.
- (36) 安城市図書館が電子書籍を大幅追加. 朝日新聞 [朝刊] 愛知版. 2020-05-01, 13 面.
- (37) 県立図書館電子書籍増へ: 2000 タイトル県教委補正案 3074 万円. 読売新聞 [朝刊] 山梨版. 2020-10-03, 30 面.
- (38) 池田昌隆. 「電子図書館」広がる: コロナ下 25 自治体導入: 今年度. 読売新聞 [朝刊]. 2020-09-22, 29 面.
- (39) 電子図書館サービス導入の経緯と今後. こまえ図書館だより. 2020-09, (72), p. 3.
- (40) “令和 2 年第 2 回定例会 (第 6 号) 本文”. 狛江市議会会議録検索. 2020-05-26. <http://www.city.komae.tokyo.dbsr.jp/>, (参照 2021-11-19).

新型コロナウイルス感染症に対応する日本の公共図書館の取り組み

- (41) 石川瀬里. 狛江市, 電子図書館始める:7千タイトル市民に好評. 朝日新聞 [朝刊] 東京版. 2020-06-20, 26 面.
- (42) 狛江市教育委員会教育部図書館. 令和2年度図書館・図書室事業報告書. 狛江市教育委員会教育部図書館, 2021, p.6
- (43) 内閣府. “地方創生臨時交付金の活用が可能な事業(例)”. 国立国会図書館インターネット資料収集保存事業(WARP). https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11647129/www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/rinjikoufukin/pdf/20200624_jigyoubu.pdf, (参照 2021-11-20).
- (44) 名取市図書館. “「ピヨピヨおはなしタイム」動画配信【4月15日分の動画配信は終了しました】”. 名取市図書館. <https://lib.city.natori.miyagi.jp/web/event/1682>, (参照 2021-11-16).
- (45) 横浜市立図書館. “おうちで楽しめるコンテンツ(電子書籍, 動画, ぬりえなど)”. 横浜市立図書館. <https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo-manabi/library/oshirase/douganado.html> (参照 2021-11-16).
- (46) 『伊予市のむかし話伝説』の読み語り. 伊予市立としょかんだより. 2020, (20). <https://www.city.iyo.lg.jp/shakaikyoubu/library/documents/20-r2spring.pdf>, (参照 2021-11-18).
- (47) 伊予市文化交流センター IYO 夢みらい館. “伊予市のむかし話—伝説1「平岡城の千人がくれ」”. YouTube. 2020-04-23. https://youtu.be/Y_NTjWEab3g, (参照 2021-11-18).
- (48) 中道直岐. 特集, コロナに負けない図書館:枚方市立図書館朗読の時間. みんなの図書館. 2020, (524), p.23-28.
- (49) 動画が複数ある場合は2020年4月以降で最も古いものをあげた。再生数2021年11月18日時点である。
- (50) 浜沢研究生きがい:元県職員・今井さん:著書に反響講演30回以上. 読売新聞 [朝刊] 埼玉版. 2020-10-31, 26 面.
- (51) 市立図書館相武台分館「図書消毒機」を手作り:職員が約1万円で作成. タウンニュース:さがみはら南区版. 2020-06-11. <https://www.townnews.co.jp/0302/2020/06/11/529558.html>, (参照 2021-11-19).
- (52) 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局, 内閣府地方創生推進事務局. “新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金:地方公共団体別事業一覧(第2次実施計画分)【Ver1.1】”. 地方創生. <https://www.chisou.go.jp/tiiki/rinjikoufukin/index.html>, (参照 2021-11-16).
- (53) セルフ貸出機導入:中野市立図書館. 読売新聞 [朝刊] 長野版. 2021-01-09, 22 面.
- (54) 岸本英樹. 3図書館コロナ対策強化奈良市職員との接触回避. 読売新聞 [朝刊] 奈良版. 2020-12-25, 23 面.
- (55) 感染対策費など境港市が補正案:市議会で提案へ. 読売新聞 [朝刊] 鳥取版. 2020-11-26, 32 面.
- (56) 境港市民図書館. ★新しくなりました①「自動貸出機」★新しくなりました②「自動返却機」. さかみみなと図書館だより. 2021, 令和3年(11), p.1-2.
- (57) 別府市. “別府市新図書館等整備基本計画 リモートライブラリー+プラス事業”. 別府市. https://www.city.beppu.oita.jp/sisei/kakusyukeikaku/library_museum_plus.html, (参照 2021-11-16).
- (58) 門岡裕介. 別府3か所に本コーナー コロナで期間限定市, 新図書館の参考に:市役所 JR 別府駅トキハ. 読売新聞 [朝刊] 大分版. 2021-01-29, 23 面.
- (59) 加藤勝利. 分散・リモート, 図書館の姿探る コロナ禍, 事業化先送りを機に:別府市が実証事業. 朝日新聞 [朝刊] 大分全県版. 2021-01-19, 27 面.
- (60) 山口真也. コロナ禍における生活困窮層の公共図書館利用と支援情報の発信のあり方を考える:東京での研修レポートより. 沖縄県図書館協会誌. 2021, (24), p.10-18.